



WFPメールニュース(拡大版) 2006/11/17

■食糧援助の現場から

★アフガニスタン 復興への道

アフガニスタンでは、2001年にタリバン政権が崩壊し、現在、人道支援機関などにより復興のための取り組みが行われています。しかし、20年以上にわたる紛争の爪あとが大きく、さらに度重なる干ばつ、慢性的な食糧不足も続いています。

今年、アフガニスタン東部・南部・南西部では干ばつが発生し、不作に終わりました。この干ばつが原因で、以前から食糧難にあった660万人に加え、新たに170万人が食糧難に陥りました。7月25日、アフガニスタン政府と国連関係機関は干ばつの被害救済のための共同声明を発表し、追加で81,500トンほどの食糧が必要だと支援を呼びかけました。

また、冬の間、山間部の集落は大雪により孤立し食糧不足に陥りがちなことからアフガニスタンの食糧事情は非常に深刻です。

そんな中、先月31日、日本政府はアフガニスタンへの食糧援助として3億5千万円を拠出することを決定しました。拠出は国内避難民、結核患者等の弱い立場の人々、学校に通う子供、地域の復興をめざして活動をしている村などへの食糧援助に活用される予定です。まだまだ復興の道は厳しいですが、アフガニスタンの人々は新しい未来に向けて歩み出しています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



写真左上

今月1日、アフガニスタンに到着した日本からの支援米

■活動報告

★ハウスバースモントファミリーウォークにWFPブース出展

ハウス食品(国連WFP協会評議員)による毎年恒例のウォーキングイベント「2006バースモントファミリーウォーク」神宮大会(東京、(社)日本ウォーキング協会主催)が10月22日(日)午前10時よりスタートしました。晴天の下、2,000人以上の参加者が神宮外苑の8km、15kmコースを歩きました。

WFPは同イベントにブースを初出展し、ゴール付近でアフリカの角地域の飢餓問題を中心にパネル展示、パンフレット配布などを行いました。ウォーキングを終えた親子連れなどに、WFPの活動やアフリカ地域の飢餓状況について説明しました。ゴール後お疲れの様子にもかかわらず、足を止めてパネル展示を熱心に見て頂いた方や、募金にご協力下さった方も多数いらっしゃいました。



■活動報告(続き)

★第3回WFP生徒作文コンクール表彰式



10月30日(月)、東京渋谷の国連大学ビルにて第3回WFP生徒作文コンクール「『子どもの飢え』をなくそう! ~私のアイデア~」の表彰式が行われました。表彰式には14名の入賞者のうち12名が出席した他、審査をお願いした関係省庁、教育関係機関、本作文コンクールをご支援頂いた協力・協賛企業の皆さまにご出席頂きました。

主催者からの祝辞の後、受賞者に表彰状、賞品が授与されました。WFPのマスコット、「ペガサス」のぬいぐるみを始めとするWFPグッズ詰め合わせ、ベネトンジャパン株式会社よりご提供頂いた衣類、雑貨などが入ったベネトングッズ詰め合わせが贈られました。また、各賞の審査をお願いした審査員のみなさんから、受賞者へお祝いの言葉と、作品へのコメントを頂きました。



受賞者を代表し、鈴木華衣さん(小学生部門、写真上)、木村麻里恵さん(中学生部門)がスピーチ。鈴木さんはスピーチで、「この作文コンクールをきっかけに、世界では飢えに苦しんでいる子どもたちがたくさんいることを知りました。飢えの問題を人ごとと考えず、世界のみんなが幸せになれるよう、一人ひとりが考えていくことが大切です。」と語りました。木村さんは、「世界には、一杯のご飯も食べられない人がいます。日本人の主食であるご飯をきっかけに、飢えをなくす活動をしていきたいです。」と作品の中で提案されたアイデアについて語りました。

作文コンクールにご応募いただいたみなさん、ご後援・ご協賛・ご協力いただきました各省、企業、団体、学校関係者のみなさま、誠にありがとうございました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

★WFP学生連合(仮称)発足に向けて

WFP 国連世界食糧計画日本事務所では、インターンの学生が中心となって、WFP学生連合(仮称)の立ち上げに向かって活動をしています。飢餓や貧困問題に関する情報を提供し学びの機会をつくと同時に、WFPの活動への理解を促すために、学生などを対象とした講演会や勉強会を企画しています。すでに、9月の「アフリカの角」勉強会をはじめ、4回のイベントを開催しました。

10月12日に行われた忍足謙朗WFPスーダン局長の講演会には36名の学生が参加。緊迫するダルフルなどの状況やWFPの活動について学びました。また、10月25日の国連デーには「国際公務員の仕事とキャリアパス ~WFP職員の現場から~」というテーマでワークショップを行い、インタビュー形式で職員2人からこれまでの経歴やWFPの仕事について話を聞きました。22名の参加者からは、「WFPの役割をよく理解できた」「自分のキャリアを考える上で勉強になった」といった、積極的な感想をいただくことができました。11月8日には、WFPからUNHCRレバノン事務所に転任する伊藤職員による講演会を開催。参加者は高校生から社会人まで多岐に渡り、活発な議論が行われました。

まだ動き出したばかりですが、今後もネットワークを広げ、より多くの人にWFPを理解していただけるよう活動をしていきたいと思います。ご興味のある方は、インターン桑原internpsfr@wfp.or.jp までご連絡下さい。

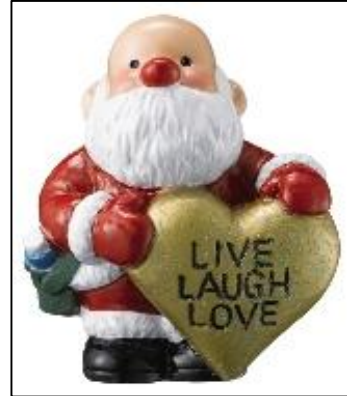


お知らせ

★タカシマヤからオリジナルチャリティーサンタ人形「ハートを抱いたサンタさん」発売

11月23日(木・祝)より、タカシマヤ(国連WFP協会評議員)全店でオリジナルサンタ人形を限定販売します。チャリティーサンタ人形は有名な絵本「スノーマン」の作者レイモンド・ブリッグス氏のデザインしたキャラクター。1994年より毎年クリスマスのチャリティー企画としてタカシマヤで発売され、コレクターズアイテムとしても大人気の人形です。売上げの一部がWFPに寄付されます。

販売開始日の23日には、10:00～13:00まで、横浜店1F正面入り口で学生を中心とするWFP協会ボランティアが揃いのTシャツ姿で道行くお客様にサンタ人形を紹介するキャンペーンを行います。同じく23日に、日本橋店で湯川れい子さん(国連WFP協会顧問)率いるゴスペルグループの協力を得てコンサートを開催し、チャリティーへの賛同を会場で呼びかけます。音楽評論家・作詞家の湯川れい子さんのご協力により、日本のゴスペルを代表するグループVOJA (Voice Of Japan)と東京女声合唱団から約20名の有志がボランティアで駆けつけて下さることとなりました。公演は13:00～と15:00～の2回、日本橋タカシマヤ1F正面ホールで実施します。



★国連WFP協会への寄付方法ご紹介

WFPの公式支援窓口である国連WFP協会は、出来るだけ多くのみなさまにご利用いただけるよう、さまざまな寄付の方法を提案していきたいと考えております。従来までの方法に加え、「マンスリー募金プログラム」、「三菱東京UFJ銀行からの振込み」、「イーバンク銀行」等新しい募金方法が追加されました。飢えに苦しむ人々への支援を一層拡充していくために、みなさまのご理解と温かいご支援をお願いします。

■ マンスリー募金プログラム

ご指定のクレジットカード/各種金融機関/郵便局口座より毎月定額を寄付するプログラムです。

http://www.jawfp.org/donate_monthly.html

■ 三菱東京UFJ銀行からの振込

振込店: 三菱東京UFJ銀行 本店(店番001)

預金種類、口座番号: 普通預金 0887110

口座名: トクヒ)国連WFP協会募金口

詳細は以下のサイトをご参照下さい。 http://www.jawfp.org/donate_monthly.html

■ イーバンク銀行口座をお持ちの方は・・・

手数料無料の口座に募金できます。 <http://www.ebank.co.jp/index.html>

■ ソフトバンクモバイルをお使いの方は・・・

携帯電話からチャリティダイヤル「*5577」に電話し、音声ガイダンスに従って「WFP」チャンネルを選択すると、WFPに関する情報などのメッセージが流れます。この通話料がソフトバンクモバイルを通じてWFPに寄付されます。

<http://www.jawfp.org/vodafone.html>

情報は毎月1日に更新されます。2006年11月は、第3回WFP生徒作文コンクールでWFP賞を受賞した、木村麻里恵さんの作文「愛をコメコメボランティア活動」を、木村さん本人の朗読でお送りします。

■ クレジットカードによるインターネット募金

1回のみのご支援と、毎月定額の継続的なご支援(「マンスリー募金プログラム」)があります。以下のサイトからお申込みできます。 <http://www.jawfp.org/online.html>

■ フリーダイヤルからのクレジットカード募金

フリーダイヤル 0120-496-819 (平日 9:00-14:00、16:00-20:00)

1回のみのご支援です。お名前、ご住所、カード番号、有効期限、募金額をオペレーターにお伝えください。

■ 郵便局からのお振込

口座番号 00290-8-37418

加入者名 国連WFP協会

手数料加入者(国連WFP協会)負担の振込用紙ご希望の方は、info@jawfp.org までご連絡ください。

今月の豆知識

7月7日配信号でご紹介したとおり、WFPは世界の著名人に様々な形でご協力頂いています。今回は、WFP飢餓撲滅大使として活躍中のマラソンランナー、ポール・テルガト選手をご紹介します。「給食が育てた世界記録」の公共広告機構(AC)のTVコマーシャル、広告等でおなじみの方も多いと思います。

テルガト選手はケニアの貧しい農村に育ち、毎日約5kmの道のりを歩いて通学していましたが、8歳のときに通学する小学校でWFPの学校給食プログラムが始まり、勉学を続けることが出来ました。有名ランナーとなった現在も特にアフリカの子どもたちの飢餓問題に関心が高く、大使を務めています。

11月5日のニューヨーク・マラソンでは3位となり、ジェームス・モリス WFP事務局長も賛辞を送りました。



発行: WFP日本事務所 <http://www.wfp.or.jp>
特定非営利活動法人 国連WFP協会 <http://www.jawfp.org>